



同友しずおか

題字：遠藤 在氏 榛原支部



私の逸品
 地域に根付いた伝統の技術
(株)松浦スチロール工業所
 (志太支部)
 詳細はWEBで!



特集

第45回青年経営者全国交流会 in 茨城

語れ夢！ぶつけよ思い！弘めよ我らの志！ ～挑戦こそが未来を創る～

会員訪問記

片野 浩一氏 (有)弥生製作所・沼津支部
網野 俊輔氏 magic print・富士宮支部

その他
主な内容

グループ長研修、支部だより、新入会員・名義変更紹介、友達の輪

平成29年度 重点課題

- ① 経営指針の成文化率を高め、人を生かす経営を実践する同友会型企業を増やします。
- ② 中小企業振興基本条例運動を推進し、政策実現が行える組織づくり、地域づくりをめざします。
- ③ 早期に1200名会員を達成し、地域の活力を生み出す活動を推進します。

未来を担う青年経営者が 集い、夢・志・挑戦への決意を交わし合う



講演講師の永田氏



静岡からの参加者

9月14日（木）～15日（金）、水戸プラザホテルほか5会場にて第45回青年経営者全国交流会 in 茨城が開催され、全国から1,204名、静岡同友会から26名が参加しました。1日目は「企業づくりと青年部活動」「次代のリーダーへの期待」「人を生かす経営の実践」などをテーマに、全16分科会が開催。また、懇親会では来賓の高橋靖・水戸市長はあいさつの中で「地域の特性を生かし、地域に根ざした経済基盤を作っていく必要がある」と述べられました。2日目の全体会では、第2分科会で報告者を務めた中村高明氏（㈱紀之国屋・福

岡同友会、中同協副会長）による「志そして人生の充実～青年経営者への期待～」と題した特別報告、永田由紀夫氏（金砂郷食品㈱・茨城同友会）による記念講演が行われました。永田氏は報告の中で、納豆の製造・販売を手掛ける金砂郷食品㈱のチャレンジと、日本の中小企業が世界に挑む気概を持つことの大切さを伝えました。未来を担う青年経営者がつながり、「日本で一番の学びの場」と参加者一同で共有された青全交 in 茨城は、来年11月29・30日の設営である沖縄同友会にバトンを渡し、幕を閉じました。

第3分科会

「あなたは良い経営者ですか？」

報告者 清水 孝弘氏（㈱S-TEKT代表取締役）
東京同友会会員

養護施設上がりの成り上がり経営者

複雑な家庭環境で育った清水氏は10代迄を児童養護施設で過ごし、すさんだ心のまま電気工事会社へ就職。金の為に入社したが社長に目をかけられ、徐々に生きがいを感じるようになります。「人を騙してでも金儲けをする」を信条に売上を伸ばし業績は向上するも、待遇は下がるばかり。一方社長の豪遊する姿に不信感を抱き、代表の座を奪い取ります。ある取引先での感謝の言葉に、得も知れぬパワーを感じ、仕事の本当の意味に目覚めました。これまで社員との関わりなど考えたこともなかった清水氏の心が移り変わったのは、青年部との出会いでした。日本や世界を見据え大きな

目標を掲げる彼らに「あほちゃうか」と感じながらも、熱心に思いを伝える言葉や表現に圧倒されます。各地を歩き回り、井の中の蛙であった現実を目の当りにして、経営理念、経営方針を作りあげ、社内で運用をスタート。障害者、養護施設出身者やニートなどを積極採用し徹底的に話し合い、理解する努力を進めるも、未だ完璧になれない自身が、どうやって社員を育て会社を成長させているのかを報告しました。バズセッションは「全人格的成長とは」をテーマにスタート。社員をパートナーとしてとらえ、適度な距離感を保ち、良い風土作りを目指す。「人の役に立つかどうか」「まわりが幸せになるか」を判断基準にして、自分に向き合い、成長を続けることが大切。さらに大きなビジョンを描き、夢を語り、ある意味「ホラ」を吹く力で組織を引っ張るくらいの経営者にもなることが重要だと感じました。

朝日 康典氏（㈱朝日鉄建・富士宮支部）

第12分科会

「話し下手でも組織を変えられる」

報告者 片岡 健夫氏 (株)サクラ保険事務所 部長代理
岡山同友会会員

組織を変えるために何が必要か

報告者である片岡氏が私と同業者であること、そして後継者という同じ立場であったことから、この分科会に参加しました。経営者・社員それぞれの「こうありたい」という想いがあり、その想いを把握できないと社内の雰囲気が悪くなってしまふ(=ワンマン経営者の成長)。それを改善するために、記入ベースの日報ではなく話し合いできる定例会議を導入し、良いことも悪いことも共有することで一人一人の「こうありたい」が見えて

きたと言います。そんな取り組みから、社員も経営者の気持ちや目標が共有できるようになり、営業成績が2億円から4億円に更新するなど、目に見える形で成果が出ています。その後のグループ討論では12名中9名が後継者。社員だけでなく先代とも「こうありたい」が異なり経営方針と目標がブレているという意見が多くありました。早速、各会社に持ち帰り「こうありたい」の把握を実践しようと言いました。今まで「自分の器ではない」と同友会入会さえも避けていたことが、後悔に変わるほど刺激多き全国交流会となりました。先輩方に全国大会に参加した方が良いよと誘われた一言に感謝しています。参加したことにより自分に変化したと感じています。これに続き周りも良い変化がみられることを期待します。

伴 正仁氏 (㈲バン・グローイング・静岡支部)

県例会企画委員会 グループ長研修

グループ長研修 in 三島

9月5日(火) 三島市民文化会館 参加27名



全県経営フォーラム in 伊東での分科会を、より学びの深いものとするためのグループ長研修を、県東部を中心とする8支部27名の参加により開催しました。「グループ長の役割」、「ミニ我が経営を語る」(報告: 高木副代表理事)、報告を受けての「グループ討論での実践」という従来からの内容に加え、今回は、「座長の役割」(説明: 箕副代表理事)を追加。座長・報告者・グループ長それぞれが分科会テーマを深く共有することで、参加者の印象に強く残る、学びの多い分科会となります。そのような分科会にするためには、座長が全体をしっかりとマネジメントする必要があります。

重責ではありますが、その分「役得」として大きな成長を遂げられる機会となるのも座長です。また、当日グループ長を実践された方は強く感じたことだと思いますが、グループ長のスキルは、一朝一夕でアップするものではありません。しかし、このスキルは、会内に留まらず、社内外での会議・ミーティング等でも、問題の本質に迫り活発な発言やアイデアを引き出すことが出来る重要なスキルですので、今回の学びを各支部に持ち帰り、引き続き実践を重ねて頂くと嬉しく思います。

稲原 研氏 (松屋電気商会・県例会企画委員長)

〈参加者感想〉

はじめに、箕副代表理事から座長の役割について、稲原研氏(松屋電気商会・県例会企画委員長)からはグループ長の役割の説明がありました。高木基氏(バリュー・トーカイ(株)・県副代表理事)の「我が経営を語る」報告では、独立開業から、事業承継や経営理念の話と短い時間の中でとても勉強になる報告を聞きました。バズではグループ長研修ということで、2つのテーマをもとにグループ長の経験の少ないグループ内の2名が役を受け進行しました。私もグループ長を経験し、バズセッションではただ進

行するだけでなく、事前に報告者としてしっかりと打ち合わせし、グループ討論内でみんなの共通点を見つけ全員で取り組み、参加者全員が学びを得るよう舵を取ることがグループ長の大きな役割であると感じました。またそのような取組みによって得るものは、グループ長が一番大きいのだらうと思います。伊東支部ではこのようなバズセッションは行っていませんでした。今後、研修資料を基に、より学びのある例会づくりをしていきたいと思いました。

土屋 順史氏 (㈲土屋装飾・伊東支部)

支部だより

御殿場例会

譲り渡す者 引継ぐ者 世代を超えて本音をぶつけあう！

9月13日(水) エピ・スクエア 参加59名



外山 恵市氏

今回は、「我が経営を語る＋トークセッション」のスタイルで、第一部として外山恵市氏(株アイ設備)が報告をした後、第二部では外山氏を含めた7名によるトークセッションで盛り上がりました。会員歴20年、会社設立20周年の節目を迎えた創業社長、同友会での「一步前へ」の学びの姿勢が仕事上でも役に立ったというお話や、今後の同友会について、世代に関係なく本音で話せる場にしたいとお話でした。その後、事業継承・後継者について悩みを抱えているという問題提起を受け、トークセッションへ。さまざまな環境・立場にいるパネラーから、それぞれの会社の現状・課題・悩みなどが打ち明けられました。事業継承がスムーズに行われた会社もあれば、突然、父が亡くなり社長として頑張らなければならなくなったり、現在事業継承に取り組んでいたり、様々な意見が出て、非常にためになる貴重な話を聞くことができました。

片野 貴一郎氏(株モスク・クリエイション・御殿場支部)

三島例会

なぜあの人はメンタルが強いのか ～経営者の為のメンタルマネジメント～

9月25日(月) 三島商工会議所 参加38名



溝口 和廣氏

今回は趣向を変え、講師例会として日本コミュニケーション心理学協会代表の溝口和廣氏をお招きしました。終始和やかな雰囲気の中で、ストレスの原因となる心のパターンの形成からその対処法に至るまで、ストレスパターンのテストやポジティブポージングを交えて講演いただきました。ストレスのほとんどは出来事によって生まれるのではなく、出来事をネガティブに捉えることによって生まれてくるもの、とのこと。そのため、ポジティブな思考を習慣化することで、①物事の解釈が上手になり②感情のコントロールができ③気分転換のマスターになれる。さらには、人格すら変えることができる、という話には、目から鱗が落ちる思いでした。「ポジティブな思考の習慣」＝「しなやかなメンタル」を持つことでストレスを軽減できるという話の他、コミュニケーションは質より量、ということも新たな発見でした。これらのことは、お客様、社員、家族、友人全てに

幅広く適用できます。経営者としてだけでなく、人としても幸せになれる方法の一つを見つけられた、学びの多い例会でした。

土屋 恵理子氏(株スギナシステム・三島支部)

沼津例会

人が会社を大きくする

9月20日(水) プラサヴェルデ 参加55名



石澤 浩一氏

石澤浩一氏(株Build East)の報告でした。1988年に北海道から沼津に移住し、石沢内装を創業、大手内装工事業者の専属外注として17年携わるも、バブルの崩壊に伴い大手内装業者が解散。この時、下請けではなく自らが元請けの立場にならなければと考え、2006年に(株Build East)を設立します。当初は損益のバランスも悪く赤字経営でした。しかし、2010年にターニングポイントが。失敗の許されない防音工事の現場を独自の防音技術で乗り切ります。この経験で社長(経営者)としての自覚、今後の方向性を考えるようになり、自社に必要な設計、工事、管理の3体制の骨格づくりに取り組みます。時を同じくして骨格づくりの主軸となる3名が入社。その後、会社のさらなる発展に必要な営業力の強化につながる人材も加わり、会社の目標に向け、全員経営で取り組んでいるそうです。石澤氏の報告を通じて、経営者の行動力と明確な将来ビジョンの必要性、その上で必要な人材を適材適所に配置する事が会社の成長拡大につながると感じました。

高島 邦栄氏(不二高株・沼津支部)

富士同友会まつり

「同友会らしい祭り」を テーマに開催！

9月10日(日) 富士市中央公園



準備中にパラパラと落ちてきた雨にヒヤリとさせられましたが、開始の時間には、雨が降ったことが嘘だったかのようなとても良い天気となりました。

今年で25回目の節目を迎えた、富士支部同友会

まつり。ステージでは、太鼓の演奏、よさこい、チアダンス、バンドなど様々なパフォーマンスが行われ、会場を盛り上げ、クレープや焼きそばといった各グループ等のお店には、行列ができるほどの大盛況でした。

恒例となった投げ餅、抽選会では、会員のご家族や社員等、来場いただいた皆様にとっても楽しんでいただけたようで、「初めて来たけれども、とても楽しかった。来年も来たい！」など沢山の喜びの声をいただくことができました。

また、まつりの成功に向けて、支部の皆が自ら進んで協力しあう姿はとても素晴らしいものでした。私自身、入会して初めてのまつりに実行委員として参加しましたが、段取りをしっかりと理解できておらず、多くの反省点がありました。ただ、今回の経験は自分の会社にも生かすことのできる経験となりました。来年は更なる発展した祭りとなることを期待し、楽しみにしています。

植松 昌氏 (株)植松設備・富士支部)

富士宮例会

未来への挑戦

～(株)タケウチの挑戦の歴史とこれから～

9月8日(金) 志ほ川 バイパス店 参加45名



竹内 いさや氏

日用品卸売業を営んでいる竹内いさや氏(株)タケウチ)の報告でした。同業者は現在、最盛期の約16%しか生き残ってなく、その中に同社は入っており地域に暮らす人々の生活を支えています。業界再編の波や消費者の購買・消費形態が大きく変化する中、竹内氏を支えたのは「挑戦し続ける」という企業文化に他なりません。成功したものはごく僅かとのことでしたが、多くのトライ&エラーの歴史を重ねる中でやってみなければわからなかったことも数多く見え、今後の経営の糧になる経験もした、とのことでした。常に危機感を持ち続け、現在はBtoBからBtoCへの移行、インターネット販売、PB商品の開発など、更なる挑戦をし続けていきたいと締めくくりました。

バズセッションでは自社課題への取組みを議論し、チャレンジする姿勢を忘れず、外部環境の変化に対応することが重要、といった意見がありました。自社の近い未来・遠い未来をどのようにしていけば…と、とても考えさせられる例会でした。

草ヶ谷 健太郎氏 (草ヶ谷燃料(株)・富士宮支部)

静岡例会

3代目経営者の挑戦

9月12日(火) ペガサート 参加57名



望月 淳平氏

公共事業の受注を主に土木建築業を営む望月淳平氏(株)望月土木)の報告でした。代表取締役就任したばかりの望月氏は、当初は会社を継ぐ事に後ろ向きでしたが「自分しかいない」と決断。創る会への参加によって会社の歴史や先代の想いを知りました。そして自身が働く意味や会社の存在意義を考えることで、会社の理念だけでなく自分自身の理念「感謝の気持ち」を見出しました。創る会で学んだことを基に、新技術の導入やこれまで受注の少なかった分野の営業など新たな取組みをしています。しかし古参社員との関係など課題もあり、会社を営むことへの不安や「経営者としての覚悟」に対する悩みも告白してくれました。グループ討論は「社長の仕事」についてがテーマでした。その1つとして同友会での学びを会社に反映させる重要性を再確認しました。また討論発表の際には、望月氏の悩みに対する諸先輩方からの助言や激励もあり、次期経営者として修行中の私にとっては、勉強になると共に励みとなる例会でした。

関 那積氏 (株)中部特機設備・静岡支部)

志太例会

クロスSWOTが経営判断に役立った!

9月21日(木) 藤枝市文化センター 参加16名



塚本 和成氏

産廃処理業を営む(有)塚本商店の2代目、塚本和成氏が報告しました。入社した2008～11年は厳しい経営状況でしたが、経営指針を創る会での経験や、松葉志太支部長(当時)の「チャレンジ」という言葉に背を押され、運搬しかできないという自社の弱みを克服すべく事業領域の拡大に挑みます。古紙回収業から古紙間屋、産廃運搬から産廃処理へと転換していったところ、コンプライアンスに力を入れていたこともあり顧客が増え、売上高、経常利益率ともに増加。「自社の取り組みや今後の展開を客観的に分析し、頭の整理をする上で、クロスSWOT分析が役に立った」とまとめました。バズセッションのテーマは「あなたは事業転換できますか?それとも既存事業を伸ばしますか?」というもので、「事業の転換は、既存事業を少しシフトさせると良い。環境に合わせた柔軟性が大事」「顧客

に寄り添い目指すものを共有し、情報を積極的に取り入れ、総合的にサポートするような姿勢が、これからの企業に求められる」などの意見が挙がりました。また「社長の頭の中では常にクロスSWOT分析が行われているが、社員には見えない。新事業に取り組む時、社員と考えを共有することが大切」という意見が印象的でした。

村松 繁氏（保険アイマーク・志太支部）

榛原例会

「経営指針を実践して見えた壁」 ～先代から学ぶこと～

9月20日(水) 榛原文化センター 3階大会議室 参加62名



田中 有行氏

田中有行氏（榊矢部製作所）が報告をしました。リーマンショック後の厳しい時期に目の当たりにした先代社長の覚悟。そこで自分が変わらなければと気づき、がむしゃらに仕事に打ち込むようになり業績も回復したそうです。その後、自らが思いもよらない事業継承を経て、社員との関係性や、経営上で感じる悩みを解決しようと同友会に入会。昨年には経営指針を創る会を受講し、経営指針を作成。現在自社で実践しています。しかし、まだ思った通りの成果が表れていないのが現状です。「経営指針を作らなくても立派に40年経営を続けられた先代と何が違うのか？」と答えを探し続けているそうです。

60人が各テーブルに分かれたバズセッションでは「経営者に本当に必要な力は何なのか？」というテーマで各々の思う経営者に必要な力や、田中氏と同様の悩みを持つ経営者の共感、あるいは乗り越えてきた先輩経営者の経験談など、熱のこもった討論と発表が行われました。

河村 智氏（マツヤデンキ（榊山崎商会）・榛原支部）

中遠例会

我が経営を語る～変えられるものと、変えられないもの～

9月21日(木) ワークピア磐田 参加9名

ベテラン会員の名波公彦氏（あうん(有)）の報告でした。名波会計事務所の開業からあうん(有)設立の経緯、名波氏の目指す会社像として、お客様の「お役立ち係」に徹したい！気軽に相談できる町

医者的な会計事務所を目指しているというお話がありました。報告の中で頻繁に出てきたのが「地域貢献」という言葉。先代の時代から地域密着で仕事を続けてきた名波氏の「地域に対する想い」を感じることが出来ました。また中遠支部の前身である、磐田支部を立ち上げた中心メンバーでもある名波氏。設立時の熱い気持ちや支部の歩みなども合わせての報告となりました。バズセッションは「変えられるものと、変えられないもの」がテーマでした。参加者それぞれが、自社の歴史や創業者の想い、そして経営理念を振り返り、共有することができました。自社の本当の強み、大切にしてきたものを改めて考える機会となりました。



名波 公彦氏

北井 寛己氏（榊キタイ電気・中遠支部）

浜松例会

経営における数字の見方を学ぶ

9月19日(火) ANYサテライト貸会議室 参加17名



鈴木 慎吾氏

今回は浜松支部役員の鈴木慎吾氏（鈴木慎吾税理士事務所）の報告でした。よい会社とそうでない会社の違いは経営計画の有無。無計画は失敗を計画しているようなもので、経営の原理・原則を考えることが重要です。鈴木氏は原理・原則をテニスに例え、がむしゃらな練習でなく正しい練習で正しいフォームを習得すること、つまり原理・原則が間違っていない、結果はついてこないと話しました。日本で新規法人が生き残る確率は5年で14%、10年で6%、20年で0.2%。「無知はコスト」正しい考えを身に付け、力を付け、皆で生き残りましょう！と共感できる話ばかりでした。決算書の見方・仕組みでは、売上から前年比等で作成している会社が多いが、本来は経常利益+借入金等まで含んだ数字から逆算して出す必要があると報告しました。シェアタイムや質疑応答の時間も設け、参加者からは「今までの考えに全く本当に為になった」「当社も売上から考えていたが、再度計画を立て直さねば」等、共感する声が多数挙がりました。

真砂 隆氏（フロムネイチャー・浜松支部）

連載 Seinenbu Tsushin
青年部通信

今月は青年部通信はお休みさせていただきます。
11月号にご期待ください！

さらなる飛躍を求めて！

(有)弥生製作所

代表取締役 片野 浩一氏 (沼津支部)

事業内容：精密機械部品及び治工具加工業

創 立：1966年11月

社 員 数：正規11名

入会年月：2004年5月

所 在 地：沼津市大諏訪856-2

T E L：055-920-7077

U R L：http://www.yayoi-seisakusho.com/

2回目の工場移転の理由

(有)弥生製作所は、マシニングセンターやNC旋盤等の機械を使用し、工作機械部品、産業機械部品、治工具類を製作しています。今までの工場は次の機械設備導入が出来ない状況で、技術革新や新分野開拓の為に、そして次世代に繋げ顧客の要望変化に対応する為にもアクションを起こす時期に来ていました。社員もさらなる発展と変化を求めていました。

今年2月工場移転と現状

社員がたまたまこの場所が空くと情報をキャッチ、広さ3倍の300坪、前の工場からも近く、運命を感じ、すぐ申し込みました。

新式マシニングセンターを今年12月に1台導入。来

年にはさらにもう一台導入を予定しており、お客様の新しいニーズに対応していきます。移転して半年がたち、やっと安定してきました。直観力を大切にした新しい顧客の開拓活動が少しずつ実を結び、ステンレス・アルミ関係も増えています。



片野 浩一氏 (中央)

これからの展望

息子への計画的事業継承 銀行関係・営業・同友会などに連れて勉強開始。今年50周年節目の年であり、ものづくりの火を継続して80周年を目標にさらなる飛躍をめざします。

「他支部、他県との同友会員との交流を通し、多くの勉強、気づきが経営に役立っている。又善き妻との二人三脚があったからこそ今があり、妻には大変感謝している」と、仲間や奥様に支えられて今があることに、強い感謝の念を抱いていました。

取材・記事：渡邊 健氏 (有)ドリームズミュージックエンターテイメント・沼津支部)

取材：上野 祥行氏 (エスティーエス(株)・沼津支部)

お客様と共に創る商用デザイン

magic print

代表 網野 俊輔氏 (富士宮支部)

事業内容：デザイン・印刷加工

設 立：2014年6月

社 員 数：1名

入会年月：2017年4月

所 在 地：山梨県西八代郡市川三郷町上野2803-9

T E L：055-272-1553

企業に必要なツールをデザインする

magic printでは、企業活動で必要とされる、名刺、看板、店舗、ウェブサイト等、様々なツールをデザインしています。最近では、ワイナリーのパッケージデザインもしています。もともと大手企業で働いていましたが、利益・効率が優先されることに違和感を感じ、2014年6月に独立開業。初年度は、知り合いの名刺をデザインさせてもらいながら仕事の幅を広げていきました。

同友会に出会って

同友会には2017年4月に入会しました。もともと山梨への地域貢献を考えていましたが、近年では企業のグローバル化が進み、地元地域だけでなく日本から世

界へどんな貢献が出来るか考えるようになりました。そのような中、同友会へのお誘いがあり、同友会会員の真摯に学ぶ姿勢に共感を覚え、自分自身がデザインのプロではあるが、経営者としては未熟だと感じていたため、入会を決意しました。自分ひとりでの仕事ゆえ、先輩や上司がいない中、様々なことを教えていただき学んでいきたいと思いました。



網野 俊輔氏

自分はアーティストではない

自分の考えに固執せず、お客様の意見を良く聞くことでデザインを考えます。自分のセンスで考えることは危険であって、むしろ自分の考えは信用しないくらいの気持ちでいます。アーティストのように自分を表現するのではなく、お客様に長く使っていただけるようなデザインを心がけています。カップ印刷機のように、アナログで長く続いているものが好きな網野氏ならではの仕事の姿勢を感じました。

取材・記事：金子 佳正氏 (金子石材滝戸・富士宮支部)

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数1080名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
おむら くら み こ 岡村久美子	(有)岡村海苔店 小売業・卸売業 (焼きのり・味付けのりの製造・販売、お茶の販売、デコ巻き寿司講座)	三島	佐藤浩美
たか ぎ なお き 高木直樹	合同保険事務所(有) 保険代理店業 (損害保険、生命保険、医療保険、各種保険全般を取り扱い)	沼津	實石和明
もち づき かず き 望月一樹	(株)望月塗装工業所 自動車販売・整備・修理・保険募集 (自動車の事故修理・車検・点検整備・販売(新車・中古車)、生命保険・損害保険の募集)	富士	片平毅
しお かわ ゆう こ 塩川祐子	特定非営利活動法人 母力向上委員会 サービス業 (富士宮市及び富士市において安心して妊娠・出産・子育てができるための講座、イベント開催、情報発信、母子保健、家庭教育、男女共同参画に関する事業、子育て支援に関する環境デザイン事業、等)	富士宮	稲原研
ほそ だ あや こ 細田あや子	喫茶 スナックAYA 飲食店 (喫茶、スナック飲食経営、カラオケ)	富士宮	荻真二
わた なべ とし ひこ 渡辺寿彦	(有)わくたま写場 撮影業	富士宮	渡辺一弘
きし けい り こ 岸佑里子	花や 小売業 (生花販売、生花・胡蝶蘭、ギフト商品販売・配達、店舗装花、開店祝いスタンド、出産祝いお花のおむつケーキ制作販売、結婚式装花、ブーケ、お供え墓花、法事用花、仏花)	静岡	吉川真実
もち づき こう へい 望月康平	(株)力ネキユウ 包装業 (商品の検品、キャンペーン商品の製作)	静岡	望月省吾
さ とう かつ み 佐藤克美	吉田観光(株) 旅客自動車運送事業、旅行業 (貸切バス・旅行取り扱い)	榛原	中野博美
み うら ただ し 三浦忠司	島田信用金庫 金融業 (預金業務、貸出業務、為替業務ほか)	榛原	鈴木徹
くす ぼん そう た 楠林壮太	塗り物アート かがや 製造業 (葬祭用品、寺社仏閣向け販促品製造卸)	浜松	楠林良之

■名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名	所属支部	旧名義人
おお かわ あき ひろ 大川明宏	税理士法人あすなるパートナーズ	沼津	笹原譲治
もと 本 さび かず お 本杉一雄	(株)本杉製作所	榛原	本杉芳郎

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」にアップします。e.doyuからのご確認をお願い致します。

友達の輪 第42回

この度古川一郎さん(株一電工・三島支部)からバトンを受け取りました、こるどん(株)の川村友美です。富士市で靴ひもやパーカーのひも、食品ラッピングのゴムひも、蛍光灯の引きひも等、様々な組みひもの製造・販売をしております。同友会には前社長から引き継ぎ入会致しました。

実家は岐阜県で同業を営んでおられて、9年前に家業を継ぐ為に修業させてもらったご縁が繋がり、昨年10月から代表取締役役に就いております。

古川さんとは、昨年の第13期経営指針を創る会の同期です。代表就任を目前に控えながらも、日々の仕事に精いっぱい、経営者としての自覚が出来ていませんでした。そんな時、創る会で「何の為に会社を経営するか?」と何度も問いかけられる中で、「社員一人一人が『この会社でみんなと力を合わせて頑張りたい!』と思ってくれる会社にしていきたいと考えたり、まだまだ道半ばですが、社員の支えのもとに頑張っております。

同友会に参加すると、いつも先輩・後輩関係なく、率直に話し、謙虚に学び合う雰囲気の中で、多くの勉強をさせていただいております。

今回は、山本健二さん(有日本スエーデン・静岡支部)です。宜しくお願いします。

川村 友美氏 (こるどん(株)・静岡支部)



川村 友美氏

第31回

全県経営フォーラム in 伊東 「地域社会の主力として光り輝く中小企業づくりを」 ～人を生かす経営の実践で、地域の期待に高い水準で応えよう～

2017年11月14日(火) 受付12:00～ 開会12:30 詳細は別紙をご覧ください!



静岡同友会
Facebookページ



静岡同友会 Facebook ページで、会員企業訪問の様子や各支部例会の案内を掲載しています。ぜひご覧ください!

同友会 三つの 目的

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。
2. 同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
3. 同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。